

地球温暖化対策報告書(その1)

1 事業者の氏名等

事業者の氏名 (法人にあっては名称 及び代表者の氏名)	株式会社小田急SCディベロップメント 代表取締役 細谷 和一郎				
事業者番号	A	5	3	0	2

2 報告する事業所等の全体の状況(2021年度の状況)

条例第8条の23第1項 報告事業所数	36	事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	9,746	kl
条例第8条の23第2項 報告事業所数	1	事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	15	kl

3 報告する全事業所における合計二酸化炭素排出量の状況

合計二酸化炭素排出量	18,958	t
------------	--------	---

4 評価の対象とする事業所等の範囲

評価対象事業所等	☒ 義務提出事業所等	☐ 全事業所
----------	--	-------------------------------

5 評価対象事業所等における直近5か年度の状況

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
合計二酸化炭素排出量				18,843.00	18,930.00	t
合計延床面積				120,171.34	123,310.27	m ²
合計原単位				156.80111	153.51519	kg-CO ₂ /m ²

平均合計二酸化炭素 排出量削減率	-0.46	%
平均合計原単位改善率	2.09	%

6 再生可能エネルギーの利用事業所数及び割合

再生可能エネルギー 利用事業所数	0	事業所
再生可能エネルギー 利用事業所率	0	%

7 評価結果

地球温暖化対策の 取組に係る評価	優良	ランク
---------------------	----	-----

8 実績年度の目標達成の状況

実績年度の 目標達成の状況	☐	目標達成した。
------------------	--------------------------	---------

9 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☒ 有	☐ 無
合計二酸化炭素排出量削減率	1	%
合計原単位改善率		%
再生可能エネルギー導入事業所率		%
その他の	特記事項に内容を記載	

10 地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル	1
----------	---

11 事業者としての取組

取組方針	● 小田急グループ環境戦略に基づき、環境に配慮した取り組みを推進(環境問題に対する意識の高まりに対応し、地域にお住まいの方々と協働して、地域社会の自然環境の保全とともに、自然と親しむ機会の提供などに努めていく) ● 環境関連法令、その他の要求事項の遵守 ● 環境関連法令の変更に伴う推進体制の見直しの実施 ● 環境マネジメントシステムに基づいた、各事業所等におけるエネルギー使用の合理化と使用量の把握の徹底			
組織体制の整備の状況	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	A104	取組状況の点検体制の構築
	A102	温暖化対策推進担当の配置	A105	取組内容や点検体制の定期的改善
	A103	具体的な取組目標と内容の設定	A106	本社等による支店の支援
	A111	全従業員に温暖化対策情報の提供	A108	組織横断的な推進体制の整備
			A113	推進担当者の知識向上・内部還元
			A114	温暖化対策優良事例の情報収集

12 特記事項

その他対策についてA107「排出状況の整理・分析・提供」も併せて実施しています。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	祖師ヶ谷大蔵駅構内店舗									
事業所番号	A	5	3	0	2	-	0	0	2	0
事業所等の所在地	〒	1	5	7	-	0	0	7	2	区市町村名 東京都世田谷区
	町名番地以下	祖師谷1-7-1								
事業所等の延床面積	287.91		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☒ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店	☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	72	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	141	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	2	t
総計(④=②+③)	④	143	t
二酸化炭素排出原単位(燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積))	⑤	489.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	6,486.3	45.00	291.9	0.0136	14.6	
	その他 ()		☐		0.0					
	その他 ()		☐		0.0					
	その他 ()		☐		0.0					
	その他 ()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	259,299.0	9.76	2,530.8	0.4890	126.8	
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計							⑪	2,822.6	⑪	141.4
そ の 他	水道及び工業用水道		☒	m ³	4,279.0			0.2660	1.1	
	公共下水道		☒	m ³	4,279.0			0.4000	1.7	
合 計									⑪	2.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策			C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☒ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

駅構内に立地しているため共用部はありませんが、テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取組みをお願いします。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	千歳船橋駅構内店舗									
事業所番号	A	5	3	0	2	ー	0	0	1	9
事業所等の所在地	〒	1	5	6	ー	0	0	5	5	区市町村名 東京都世田谷区
	町名番地 以下	船橋1-1-5								
事業所等の延床面積	299.98		m ²		事業所等の実績年度の エネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☒ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類 における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当		
再生可能エネルギー の利用状況	☐ 再生可能エネルギー 発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電 気の受入 ☐ 証書による環境価値 の利用									
前年度の報告内容 からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	118	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	229	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③	2	t
総計(④=②+③)	④	231	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	763.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及び 熱	都市ガス		■	Nm ³	32,145.1	45.00	1,446.5	0.0136	72.1		
	その他()		□		0.0						
	その他()		□		0.0						
	その他()		□		0.0						
	その他()		□		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0		
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0		
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		■	kWh	322,525.0	9.76	3,147.8	0.4890	157.7		
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0	⑬	0.0
合 計							⑪	4,594.4		⑬	229.8
そ の 他	水道及び工業用水道		■	m ³	3,912.0			0.2660		1.0	
	公共下水道		■	m ³	3,912.0			0.4000		1.6	
合 計										⑬	2.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策			C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無							
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

駅構内に立地しているため共用部はありませんが、テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取組みをお願いします。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	経堂駅構内店舗																
事業所番号	A	5	3	0	2	-	0	0	1	8							
事業所等の所在地	〒 1 5 6 - 0 0 5 2										区市町村名 東京都世田谷区						
	町名番地下 以 経堂2-1-3																
事業所等の延床面積	412.48					m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有																
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)																
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所					☒ 商業施設(物販)					☐ 商業施設(飲食)						
	☐ 工場					☐ 複合施設					☐ その他						
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当							
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用																
前年度の報告内容からの変更点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	103	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	200	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	202	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	484.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	7,663.6	45.00	344.9	0.0136	17.2			
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0			
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0			
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	375,136.0	9.76	3,661.3	0.4890	183.4			
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	0.4890	⑬
合 計							⑭	4,006.2		⑮	200.6	
そ の 他	水道及び工業用水道		☒	m ³	3,908.0				0.2660		1.0	
	公共下水道		☒	m ³	3,908.0				0.4000		1.6	
合 計										⑯	2.6	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
	A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
	B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策			C103	日本工業規格に準じた照度の設定
運用対策				
設備保守対策				
設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☒ 有	☐ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

駅構内に立地しているため共用部はありませんが、テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取組みをお願いします。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	豪徳寺駅構内店舗														
事業所番号	A	5	3	0	2	-	0	0	1	7					
事業所等の所在地	〒	1	5	4	-	0	0	2	1	区市町村名		東京都世田谷区			
	町名番地以下	豪徳寺1-43-4													
事業所等の延床面積	186.75			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所					☒ 商業施設(物販)					☐ 商業施設(飲食)				
	☐ 工場					☐ 複合施設					☐ その他				
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	36	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	70	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	70	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	374.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の 電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	144,913.0	9.76	1,414.4	0.4890	70.9
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬	1,414.4	⑭	70.9
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	814.0			0.2660	0.2
	公共下水道		☐	m ³	814.0			0.4000	0.3
合 計								⑮	0.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策			C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☒ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

駅構内に立地しているため共用部はありませんが、テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取組みをお願いします。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小田急マルシェ和泉多摩川												
事業所番号	A	5	3	0	2	-	0	0	1	6			
事業所等の所在地	〒	2	0	1	-	0	0	1	4	区市町村名 東京都狛江市			
	町名番地以下	東和泉4-2-3											
事業所等の延床面積	1,834.84		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有												
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)												
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所				☒ 商業施設(物販)				☐ 商業施設(飲食)				
	☐ 工場				☐ 複合施設				☐ その他				
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分				☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用												
前年度の報告内容からの変更点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	167	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	323	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	324	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	176.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	4,871.9	45.00	219.2	0.0136	10.9
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	476,130.0	9.97	4,747.0	0.4890	232.8
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	163,022.0	9.28	1,512.8	0.4890	79.7
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑪ 6,479.1		⑩ 323.5
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,313.0			0.2660	0.6
	公共下水道	☐	m ³	2,313.0			0.4000	0.9
合 計								⑩ 1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
	A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
	B102	関連他者からの情報を加えて把握		
	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策			
	設備導入対策			

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☒ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

共用部に空調はありません。テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取り組みをお願いしています。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小田急マルシェ狛江														
事業所番号	A	5	3	0	2	-	0	0	1	5					
事業所等の所在地	〒	2	0	1	-	0	0	1	3	区市町村名	東京都狛江市				
	町名番地以下	元和泉1-2-2													
事業所等の延床面積	4,317.88			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所					☐ 商業施設(物販)					☒ 商業施設(飲食)				
	☐ 工場					☐ 複合施設					☐ その他				
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	384	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	743	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	14	t
	総計(④=②+③)	④	757	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	172.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	15,322.4	45.00	689.5	0.0136	34.4			
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	1,075,085.0	9.97	10,718.6	0.4890	525.7			
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	374,782.0	9.28	3,478.0	0.4890	183.3			
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0			
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑮	0.0	9.76	⑮	0.0	0.4890	⑮
合 計							⑮	14,886.1		⑮	743.4	
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	22,288.0			0.2660	5.9			
	公共下水道		☐	m ³	22,288.0			0.4000	8.9			
合 計									⑮	14.8		

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑭=(⑬/1,000)×⑩とする。

※2 ⑮=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑮/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑩とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定		
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無	☒ 有	☐ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取り組みをお願いしています。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小田急マルシェ喜多見														
事業所番号	A	5	3	0	2	-	0	0	1	4					
事業所等の所在地	〒	1	5	7	-	0	0	6	7	区市町村名		東京都世田谷区			
	町名番地以下	喜多見9-2-35													
事業所等の延床面積	5,579.87			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所					☒ 商業施設(物販)					☐ 商業施設(飲食)				
	☐ 工場					☐ 複合施設					☐ その他				
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	393	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	762	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	5	t
	総計(④=②+③)	④	767	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	136.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	27,188.1	45.00	1,223.5	0.0136	61.0
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	1,067,898.0	9.97	10,646.9	0.4890	522.2
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	366,367.0	9.28	3,399.9	0.4890	179.2
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑪
合 計							⑪ 15,270.3		⑪ 762.4
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	7,934.0			0.2660	2.1
	公共下水道		☐	m ³	7,934.0			0.4000	3.2
合 計									⑪ 5.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
	A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
	B102	関連他者からの情報を加えて把握		
	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策			
	設備導入対策			

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

共用部に空調はありません。テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取り組みをお願いしています。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	喜多見東山クリニック												
事業所番号	A	5	3	0	2	-	0	0	1	3			
事業所等の所在地	〒	1	5	7	-	0	0	6	7	区市町村名	東京都世田谷区		
	町名番地以下	喜多見9-10-3											
事業所等の延床面積	624.00			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有												
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)												
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他												
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分				☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用												
前年度の報告内容からの変更点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	42	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	80	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	83	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	128.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別				推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
									排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		☐	Nm ³	13,291.5	45.00	598.1	0.0136	29.8	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電気	一般送配電事業者の 電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	104,132.0	9.97	1,038.2	0.4890	50.9	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計							⑪	1,636.3	⑪	80.7
その他	水道及び工業用水道		☐	m ³	5,316.0				0.2660	1.4
	公共下水道		☐	m ³	5,316.0				0.4000	2.1
合 計									⑩	3.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー 対策	運用対策			C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☒ 有	☐ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

一棟貸しにつき、共用部はありません。テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取り組みをお願いしています。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小田急喜多見スポーツクラブビル														
事業所番号	A	5	3	0	2	-	0	0	1	2					
事業所等の所在地	〒	1	5	7	-	0	0	6	7	区市町村名					東京都世田谷区
	町名番地以下	喜多見9-25-8													
事業所等の延床面積	2,553.55			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所					☐ 商業施設(物販)					☐ 商業施設(飲食)				
	☐ 工場					☐ 複合施設					☒ その他				
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	257	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	493	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③	11	t
総計(④=②+③)	④	504	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	193.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量※ ¹ (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	118,985.5	45.00	5,354.3	0.0136	267.0
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	462,441.0	9.97	4,610.5	0.4890	226.1
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
		その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値※ ²				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑬ 0.0	⑭ 0.4890
合 計							⑯ 9,964.9		⑰ 493.1
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	17,932.2			0.2660	4.8
	公共下水道		☐	m ³	17,932.2			0.4000	7.2
合 計									⑱ 11.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策			C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☒ 有	☐ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

一棟貸しにつき、共用部はありません。テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取り組みをお願いしています。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小田急マルシェ祖師ヶ谷大蔵											
事業所番号	A	5	3	0	2	ー	0	0	1	1		
事業所等の所在地	〒	1	5	7	ー	0	0	7	2	区市町村名 東京都世田谷区		
	町名番地以下	祖師谷3-1-7										
事業所等の延床面積	815.47		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所				☒ 商業施設(物販)				☐ 商業施設(飲食)			
	☐ 工場				☐ 複合施設				☐ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	124	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	239	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	239	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	293.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	20,374.0	45.00	916.8	0.0136	45.7	
	その他 ()		☐		0.0					
	その他 ()		☐		0.0					
	その他 ()		☐		0.0					
	その他 ()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	331,868.0	9.97	3,308.7	0.4890	162.3	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	63,921.0	9.28	593.2	0.4890	31.3	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計							⑬	4,818.7	⑭	239.3
そ の 他	水道及び工業用水道	☐	m ³	161.5				0.2660	0.0	
	公共下水道	☐	m ³	161.5				0.4000	0.1	
合 計									⑮	0.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

共用部に空調はありません。テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取り組みをお願いしています。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小田急マルシェ千歳船橋2														
事業所番号	A	5	3	0	2	-	0	0	1	0					
事業所等の所在地	〒	1	5	6	-	0	0	5	5	区市町村名	東京都世田谷区				
	町名番地以下	船橋1-9-45													
事業所等の延床面積	1,061.07		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満					
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所					☒ 商業施設(物販)					☐ 商業施設(飲食)				
	☐ 工場					☐ 複合施設					☐ その他				
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	164	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	317	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	320	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	298.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	17,437.3	45.00	784.7	0.0136	39.1
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	442,187.0	9.97	4,408.6	0.4890	216.2
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	126,697.0	9.28	1,175.7	0.4890	62.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑪ 6,369.0		⑪ 317.3
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	5,390.0			0.2660	1.4
	公共下水道	☐	m ³	5,390.0			0.4000	2.2
合 計								⑫ 3.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

共用部に空調はありません。テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取り組みをお願いしています。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	千歳船橋OX店舗									
事業所番号	A	5	3	0	2	-	0	0	0	9
事業所等の所在地	〒	1	5	6	-	0	0	5	2	区市町村名 東京都世田谷区
	町名番地以下	経堂4-18-39								
事業所等の延床面積	940.37		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☒ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	166	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	326	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③	1	t
総計(④=②+③)	④	327	t
二酸化炭素排出原単位(燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積))	⑤	346.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別				推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
									排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス			☐	Nm ³	1,300.2	45.00	58.5	0.0136	2.9	
	その他 ()			☐		0.0					
	その他 ()			☐		0.0					
	その他 ()			☐		0.0					
	その他 ()			☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	381,865.0	9.97	3,807.2	0.4890	186.7		
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	279,309.0	9.28	2,592.0	0.4890	136.6		
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0		
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}					kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計								⑬	6,457.7	⑭	326.2
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	2,042.0				0.2660	0.5	
	公共下水道		☐	m ³	2,042.0				0.4000	0.8	
合 計										⑮	1.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策			C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

一棟貸しにつき、共用部はありません。テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取り組みをお願いしています。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小田急マルシェ千歳船橋1												
事業所番号	A	5	3	0	2	-	0	0	0	8			
事業所等の所在地	〒	1	5	6	-	0	0	5	2	区市町村名	東京都世田谷区		
	町名番地以下	経堂4-30-41											
事業所等の延床面積	787.81		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有												
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)												
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☒ 複合施設 ☐ その他												
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分				☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用												
前年度の報告内容からの変更点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	50	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	97	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	97	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	123.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス	☐	Nm ³	900.0	45.00	40.5	0.0136	2.0		
	その他 ()	☐		0.0						
	その他 ()	☐		0.0						
	その他 ()	☐		0.0						
	その他 ()	☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	139,401.0	9.97	1,389.8	0.4890	68.2	
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	56,699.0	9.28	526.2	0.4890	27.7	
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑭	0.0	9.76	⑮	0.0	0.0
合 計						⑮	1,956.5		⑯	97.9
そ の 他	水道及び工業用水道	☐	m ³	946.0			0.2660	0.3		
	公共下水道	☐	m ³	946.0			0.4000	0.4		
合 計								⑯	0.6	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
	A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
	B102	関連他者からの情報を加えて把握		
	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策			
	設備導入対策			

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

共用部に空調はありません。テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取り組みをお願いしています。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ビーバートザン経堂												
事業所番号	A	5	3	0	2	-	0	0	0	7			
事業所等の所在地	〒	1	5	6	-	0	0	5	2	区市町村名	東京都世田谷区		
	町名番地以下	経堂4-42-10											
事業所等の延床面積	1,603.04			m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有												
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)												
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所			☒ 商業施設(物販)					☐ 商業施設(飲食)				
	☐ 工場			☐ 複合施設					☐ その他				
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用												
前年度の報告内容からの変更点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑩×0.0258)		①	33	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	63	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	64	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	39.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑩	係数 ⑪	熱量 (GJ) ⑫=(⑩/1000)×⑪	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑬	排出量 ^{※1} (t) ⑭=⑬×⑩×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	18,603.3	45.00	837.1	0.0136	41.7
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	44,961.0	9.97	448.3	0.4890	22.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑮	0.0	9.76	⑮	0.0
合 計						⑮ 1,285.4		⑮ 63.7
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,246.0			0.2660	0.6
	公共下水道	☐	m ³	2,246.0			0.4000	0.9
合 計								⑮ 1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑭=(⑬/1,000)×⑩とする。

※2 ⑮=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑩とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策			C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☒ 有	☐ 無				
目 標 値 等 (選 択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小田急マルシェ豪徳寺											
事業所番号	A	5	3	0	2	-	0	0	0	6		
事業所等の所在地	〒	1	5	4	-	0	0	2	1	区市町村名	東京都世田谷区	
	町名番地以下	豪徳寺1-44-11										
事業所等の延床面積	395.07			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所			☐ 商業施設(物販)			☒ 商業施設(飲食)					
	☐ 工場			☐ 複合施設			☐ その他					
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	106	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	204	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	17	t
	総計(④=②+③)	④	221	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	516.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	33,465.5	45.00	1,505.9	0.0136	75.1
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	264,687.2	9.97	2,638.9	0.4890	129.4
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑪ 4,144.9		⑪ 204.5
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	26,398.0			0.2660	7.0
	公共下水道	☐	m ³	26,398.0			0.4000	10.6
合 計								⑫ 17.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☒ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

共用部に空調はありません。テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取り組みをお願いしています。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小田急梅ヶ丘5ブロック									
事業所番号	A	5	3	0	2	—	0	0	0	5
事業所等の所在地	〒	1	5	4	—	0	0	2	2	区市町村名 東京都世田谷区
	町名番地以下	梅丘1-31-31								
事業所等の延床面積	902.56		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☒ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	145	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	285	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	288	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	315.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	3,500.3	45.00	157.5	0.0136	7.9
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	309,780.0	9.97	3,088.5	0.4890	151.5
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	258,586.0	9.28	2,399.7	0.4890	126.4
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑪ 5,645.7		⑪ 285.8
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	4,540.0			0.2660	1.2
	公共下水道	☐	m ³	4,540.0			0.4000	1.8
合 計								⑫ 3.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策			C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

一棟貸しにつき、共用部はありません。テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取り組みをお願いしています。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	若林ビル														
事業所番号	A	5	3	0	2	-	0	0	0	4					
事業所等の所在地	〒	1	5	4	-	0	0	2	3	区市町村名 東京都世田谷区					
	町名番地以下	若林5-41-20													
事業所等の延床面積	5,504.29			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所					☒ 商業施設(物販)					☐ 商業施設(飲食)				
	☐ 工場					☐ 複合施設					☐ その他				
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	126	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	241	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	241	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	43.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量		
							排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス	☐	Nm ³	12,533.6	45.00	564.0	0.0136	28.1	
	その他 ()	☐		0.0					
	その他 ()	☐		0.0					
	その他 ()	☐		0.0					
	その他 ()	☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	435,636.0	9.97	4,343.3	0.4890	213.0
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
		規則第5条の17第3項の場合のみ ^{※2}		kWh	^⑪ 0.0	9.76	^⑪ 0.0	0.4890	^⑫ 0.0
合 計						^⑪ 4,907.3		^⑫ 241.2	
そ の 他	水道及び工業用水道	☐	m ³	901.0			0.2660	0.2	
	公共下水道	☐	m ³	901.0			0.4000	0.4	
合 計								^⑬ 0.6	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策			C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無							
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

一棟貸しにつき、共用部はありません。テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取り組みをお願いしています。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	Flags											
事業所番号	A	5	3	0	2	-	0	0	0	3		
事業所等の所在地	〒	1	6	0	-	0	0	2	2	区市町村名 新宿区		
	町名番地以下	新宿3-37-1										
事業所等の延床面積	15,866.84			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所				☐ 商業施設(物販)				☐ 商業施設(飲食)			
	☐ 工場				☒ 複合施設				☐ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	854	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	1,659	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③	7	t
	総計(④=②+③)	④	1,666	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	104.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
							排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス	☐	Nm ³	159,907.3	45.00	7,195.8	0.0136	358.8		
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0		
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0		
	その他()	☐		0.0						
	その他()	☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	1,778,757.0	9.97	17,734.2	0.4890	869.8	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	881,491.0	9.28	8,180.2	0.4890	431.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
	規則第5条の17第3項の場合のみ ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0	⑪
合 計						⑪ 33,110.3		⑪	1,659.7	
そ の 他	水道及び工業用水道	☐	m ³	11,210.0			0.2660		3.0	
	公共下水道	☐	m ³	11,210.0			0.4000		4.5	
合 計								⑪	7.5	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備			A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
	B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	
		C109	空室・不在時等の空調停止	
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	
		D104	空調フィルターの清掃・点検	
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無	☐ 有	☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	経堂テラスガーデン											
事業所番号	A	5	3	0	2	-	0	0	0	2		
事業所等の所在地	〒	1	5	6	-	0	0	5	2	区市町村名 東京都世田谷区		
	町名番地以下	経堂一丁目20番1号他										
事業所等の延床面積	12,806.20			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所			☐ 商業施設(物販)			☐ 商業施設(飲食)					
	☐ 工場			☒ 複合施設			☐ その他					
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	863	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	1,666	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	28	t
	総計(④=②+③)	④	1,694	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	130.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別				推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
									排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス			☐	Nm ³	196,626.3	45.00	8,848.2	0.0136	441.2
	その他(軽油)			☐	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他()			☐		0.0				
	その他()			☐		0.0				
	その他()			☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	1,973,893.0	9.97	19,679.7	0.4890	965.2	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	532,509.0	9.28	4,941.7	0.4890	260.4	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}					kWh	⑪	0.0	9.76	⑫
合 計								⑬ 33,469.6		⑭ 1,666.9
そ の 他	水道及び工業用水道			☐	m ³	42,416.0			0.2660	11.3
	公共下水道			☐	m ³	42,416.0			0.4000	17.0
合 計										⑮ 28.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更		
		C109	空室・不在時等の空調停止		
		C114	事務用機器を省エネモードに設定		
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	経堂コルティ														
事業所番号	A	5	3	0	2	-	0	0	0	1					
事業所等の所在地	〒	1	5	6	-	0	0	5	2	区市町村名					東京都世田谷区
	町名番地以下	経堂二丁目1番33号													
事業所等の延床面積	15,707.10				m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満					
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☒ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分				☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	1,176	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	2,268	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③	23	t
	総計(④=②+③)	④	2,291	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	144.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	63,434.8	45.00	2,854.6	0.0136	142.3
	その他(軽油)	☐	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	3,481,053.0	9.97	34,706.1	0.4890	1,702.2
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	867,892.0	9.28	8,054.0	0.4890	424.4
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬ 45,614.7		⑭ 2,269.0
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	35,329.0			0.2660	9.4
	公共下水道	☐	m ³	35,329.0			0.4000	14.1
合 計								⑮ 23.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩} = (\text{⑧} / 1,000) \times \text{⑨}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑭/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更		
		C109	空室・不在時等の空調停止		
		C114	事務用機器を省エネモードに設定		
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☒ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	町田バスビル														
事業所番号	A	5	3	0	2	-	0	0	3	9					
事業所等の所在地	〒	1	9	4	-	0	0	2	2	区市町村名 町田市					
	町名番地 以下	森野1丁目19-20													
事業所等の延床面積	3,554.12			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所					☐ 商業施設(物販)					☐ 商業施設(飲食)				
	☐ 工場					☒ 複合施設					☐ その他				
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点	2021年度新規物件による追加														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	204	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	393	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	6	t
	総計(④=②+③)	④	399	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	110.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ⑥=(④/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
							排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=③×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス	☐	Nm ³	31,634.7	45.00	1,423.6	0.0136	71.0		
	その他 (LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0		
	その他 (灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0		
	その他 ()	☐		0.0						
	その他 ()	☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	551,531.0	9.97	5,498.8	0.4890	269.7	
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	108,961.0	9.28	1,011.2	0.4890	53.3	
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0	⑬
合 計						⑪	7,933.5		⑬	394.0
そ の 他	水道及び工業用水道	☐	m ³	10,175.0			0.2660			2.7
	公共下水道	☐	m ³	10,175.0			0.4000			4.1
合 計									⑮	6.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A501	ビル所有者の対策や要請に協力		
エネルギー等の 使用状況の把握		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策	C203	営業前後の客室不要照明の停止		
		C208	営業前後の客室不要空調の停止		
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取り組みをお願いしています。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	世田谷代田キャンパス									
事業所番号	A	5	3	0	2	—	0	0	3	7
事業所等の所在地	〒	1	5	5	—	0	0	3	3	区市町村名 世田谷区
	町名番地以下	代田3丁目58-7								
事業所等の延床面積	420.47		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所		☐ 商業施設(物販)		☐ 商業施設(飲食)					
	☐ 工場		☐ 複合施設		☒ その他					
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店	☐ 加盟店	☒ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	38	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	73	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	73	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	173.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	2,182.7	45.00	98.2	0.0136	4.9
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	140,461.2	9.97	1,400.4	0.4890	68.7
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
			規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑪	0.0	9.76	⑪
合 計							⑪ 1,498.6		⑪ 73.6
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	351.0			0.2660	0.1
	公共下水道		☐	m ³	351.0			0.4000	0.1
合 計									⑫ 0.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
		C109	空室・不在時等の空調停止	CB09	空室・不在時等の空調停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定		
		CB21	バックヤードのこまめな消灯		
	設備保守対策				
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小田急永山駅構内店舗														
事業所番号	A	5	3	0	2	-	0	0	3	8					
事業所等の所在地	〒	2	0	6	-	0	0	2	5	区市町村名	多摩市				
	町名番地以下	永山1-18-23													
事業所等の延床面積	82.33			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所					☒ 商業施設(物販)					☐ 商業施設(飲食)				
	☐ 工場					☐ 複合施設					☐ その他				
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点	30KJを越えたため														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	32	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	62	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	62	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	753.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ⑤=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ③	排出量 ^{※1} (t) ⑩=③×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	9,787.4	45.00	440.4	0.0136	22.0		
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0		
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0		
	その他 ()		☐		0.0						
	その他 ()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	82,779.0	9.97	825.3	0.4890	40.5		
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0		
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0		
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑩	0.0	9.76	⑪	0.0	③
合 計							⑫	1,265.7		⑬	62.4
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	1,104.0				0.2660	0.3	
	公共下水道		☐	m ³	1,104.0				0.4000	0.4	
合 計										⑭	0.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑭=(⑬/1,000)×⑩とする。

※2 ⑮=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑮/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑩とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策			C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☒ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

駅構内に立地しているため共用部はありませんが、テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取組みをお願いします。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	シモキタエキウエ														
事業所番号	A	5	3	0	2	-	0	0	3	6					
事業所等の所在地	〒	1	5	5	-	0	0	3	1	区市町村名					世田谷区
	町名番地以下	北沢2丁目24-2													
事業所等の延床面積	1,786.97			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所					☒ 商業施設(物販)					☐ 商業施設(飲食)				
	☐ 工場					☐ 複合施設					☐ その他				
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	224	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	432	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③	5	t
	総計(④=②+③)	④	437	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	241.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別				推計 の 使用	単位	使用量 ④	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑤=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
									排出 係数 ⑧	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑤×⑧×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス			☐	Nm ³	20,002.0	45.00	900.1	0.0136	44.9
	その他(LPG)			☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)			☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()			☐		0.0				
	その他()			☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気		昼間(8時～22時)	☐	kWh	640,328.0	9.97	6,384.1	0.4890	313.1
			夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	152,284.0	9.28	1,413.2	0.4890	74.5
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}					kWh	⑪	0.0	9.76	⑪
合 計								⑪ 8,697.4		⑪ 432.5
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	7,827.3				0.2660	2.1
	公共下水道		☐	m ³	7,827.3				0.4000	3.1
合 計										⑪ 5.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☒ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取り組みをお願いしています。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小田急玉川学園マルシェ											
事業所番号	A	5	3	0	2	-	0	0	3	5		
事業所等の所在地	〒	1	9	4	-	0	0	4	1	区市町村名 町田市		
	町名番地以下	玉川学園2-3892										
事業所等の延床面積	914.18		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所			☐ 商業施設(物販)			☒ 商業施設(飲食)					
	☐ 工場			☐ 複合施設			☐ その他					
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑩×0.0258)		①	103	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	199	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	200	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	217.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	5,921.7	45.00	266.5	0.0136	13.3	
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	305,131.0	9.97	3,042.2	0.4890	149.2	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	75,322.0	9.28	699.0	0.4890	36.8	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計							⑬	4,007.6	⑭	199.3
そ の 他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,425.0				0.2660	0.6	
	公共下水道	☐	m ³	2,425.0				0.4000	1.0	
合 計									⑮	1.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☒ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取り組みをお願いしています。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小山ヶ丘(ミスターマックス)												
事業所番号	A	5	3	0	2	-	0	0	3	4			
事業所等の所在地	〒	1	9	4	-	0	2	1	5	区市町村名 東京都町田市			
	町名番地以下	小山ヶ丘6-1-10											
事業所等の延床面積	18,810.61		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有												
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)												
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所				☒ 商業施設(物販)				☐ 商業施設(飲食)				
	☐ 工場				☐ 複合施設				☐ その他				
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分				☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用												
前年度の報告内容からの変更点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	1,021	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	1,943	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③	7	t
	総計(④=②+③)	④	1,950	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	103.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	22,495.0	45.00	1,012.3	0.0136	50.5
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	3,870,413.0	9.97	38,588.0	0.4890	1,892.6
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑪
合 計							⑪ 39,600.3		⑪ 1,943.1
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	11,795.0			0.2660	3.1
	公共下水道		☐	m ³	11,795.0			0.4000	4.7
合 計									⑪ 7.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策			C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☒ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

一棟貸しにつき、共用部はありません。テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取り組みをお願いしています。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小田急マルシェ多摩センター												
事業所番号	A	5	3	0	2	-	0	0	3	3			
事業所等の所在地	〒	2	0	6	-	0	0	3	3	区市町村名 東京都多摩市			
	町名番地以下	落合1-11-2											
事業所等の延床面積	6,109.80			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有												
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)												
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所				☐ 商業施設(物販)				☐ 商業施設(飲食)				
	☐ 工場				☒ 複合施設				☐ その他				
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分				☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用												
前年度の報告内容からの変更点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	803	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	1,555	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	8	t
	総計(④=②+③)	④	1,563	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	254.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		□	Nm ³	48,426.5	45.00	2,179.2	0.0136	108.7	
	その他()		□		0.0					
	その他()		□		0.0					
	その他()		□		0.0					
	その他()		□		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	2,207,194.0	9.97	22,005.7	0.4890	1,079.3	
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	751,599.0	9.28	6,974.8	0.4890	367.5	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0	⑪
合 計							⑪ 31,159.8		⑪	1,555.5
そ の 他	水道及び工業用水道		□	m ³	13,172.0			0.2660		3.5
	公共下水道		□	m ³	13,172.0			0.4000		5.3
合 計									⑪	8.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

4 地球温暖化対策の実施状況					
		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取り組みをお願いしています。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小田急マルシェ永山												
事業所番号	A	5	3	0	2	—	0	0	3	2			
事業所等の所在地	〒206—0025 区市町村名 東京都多摩市												
事業所等の延床面積	2,484.56			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有												
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)												
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☒ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他												
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店	☐ 加盟店	☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用												
前年度の報告内容からの変更点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑩×0.0258)		①	368	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	②	714	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑭)	③	4	t
	総計(④=②+③)	④	718	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	287.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計 の 使用	単位	使用量 ④	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
							排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×14/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス	☐	Nm ³	17,386.3	45.00	782.4	0.0136	39.0	
	その他()	☐		0.0					
	その他()	☐		0.0					
	その他()	☐		0.0					
	その他()	☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	1,005,396.0	9.97	10,023.8	0.4890	491.6
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	376,734.0	9.28	3,496.1	0.4890	184.2
		その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0
合 計						⑭ 14,302.3		⑮ 714.9	
そ の 他	水道及び工業用水道	☐	m ³	6,864.0			0.2660	1.8	
	公共下水道	☐	m ³	6,864.0			0.4000	2.7	
合 計								⑯ 4.6	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

共用部に空調はありません。テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取り組みをお願いしています。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小田急マルシェ町田											
事業所番号	A	5	3	0	2	-	0	0	3	1		
事業所等の所在地	〒	1	9	4	-	0	0	1	3	区市町村名 東京都町田市		
	町名番地以下	原町田6-1430-4										
事業所等の延床面積	1,610.24		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所				☐ 商業施設(物販)				☒ 商業施設(飲食)			
	☐ 工場				☐ 複合施設				☐ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分				☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	284	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	549	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	6	t
総計(④=②+③)	④	555	t
二酸化炭素排出原単位(燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積))	⑤	340.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	61,566.2	45.00	2,770.5	0.0136	138.2		
	その他 ()		☐		0.0						
	その他 ()		☐		0.0						
	その他 ()		☐		0.0						
	その他 ()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	693,663.0	9.97	6,915.8	0.4890	339.2		
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	146,518.0	9.28	1,359.7	0.4890	71.6		
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0		
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	⑬	0.0
合 計							⑭	11,046.0		⑮	549.0
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	9,298.0				0.2660		2.5
	公共下水道		☐	m ³	9,298.0				0.4000		3.7
合 計										⑯	6.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☒ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小田急OX玉川学園店														
事業所番号	A	5	3	0	2	-	0	0	3	0					
事業所等の所在地	〒	1	9	4	-	0	0	4	1	区市町村名 東京都町田市					
	町名番地以下	玉川学園2-3892													
事業所等の延床面積	2,185.50			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所					☒ 商業施設(物販)					☐ 商業施設(飲食)				
	☐ 工場					☐ 複合施設					☐ その他				
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	244	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	465	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	467	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	212.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	4,396.3	45.00	197.8	0.0136	9.9		
	その他 ()		☐		0.0						
	その他 ()		☐		0.0						
	その他 ()		☐		0.0						
	その他 ()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	931,648.0	9.97	9,288.5	0.4890	455.6		
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0		
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0		
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	⑬
合 計							⑭	9,486.4		⑮	465.4
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	4,163.0				0.2660		1.1
	公共下水道		☐	m ³	4,163.0				0.4000		1.7
合 計										⑯	2.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
	B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策		C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策			
	設備導入対策			

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

一棟貸しにつき、共用部はありません。テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取り組みをお願いしています。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小田急マルシェ鶴川Ⅲ									
事業所番号	A	5	3	0	2	-	0	0	2	9
事業所等の所在地	〒195-0053 区市町村名 東京都町田市									
	町名番地 以 下 能ヶ谷町66									
事業所等の延床面積	669.06		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☒ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	94	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	182	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	3	t
総計(④=②+③)	④	185	t
二酸化炭素排出原単位	⑤	272.0	kg-CO ₂ /m ²
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)			

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
							排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス	☐	Nm ³	15,075.0	45.00	678.4	0.0136	33.8	
	その他()	☐		0.0					
	その他()	☐		0.0					
	その他()	☐		0.0					
	その他()	☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	217,671.0	9.97	2,170.2	0.4890	106.4
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	87,378.0	9.28	810.9	0.4890	42.7
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	規則第5条の17第3項の場合のみ ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬	3,659.4	⑭	183.0
そ の 他	水道及び工業用水道	☐	m ³	4,671.0			0.2660		1.2
	公共下水道	☐	m ³	4,671.0			0.4000		1.9
合 計								⑮	3.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☒ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

共用部に空調はありません。テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取り組みをお願いしています。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小田急マルシェ鶴川Ⅱ														
事業所番号	A	5	3	0	2	—	0	0	2	8					
事業所等の所在地	〒	1	9	5	—	0	0	5	3	区市町村名	東京都町田市				
	町名番地以下	能ヶ谷町字163-4													
事業所等の延床面積	480.81			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所					☐ 商業施設(物販)					☒ 商業施設(飲食)				
	☐ 工場					☐ 複合施設					☐ その他				
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	63	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	123	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	124	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	255.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量※ ¹ (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	3,683.0	45.00	165.7	0.0136	8.3		
	その他 ()		☐		0.0						
	その他 ()		☐		0.0						
	その他 ()		☐		0.0						
	その他 ()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	191,189.0	9.97	1,906.2	0.4890	93.5		
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	43,980.0	9.28	408.1	0.4890	21.5		
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0		
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値※ ²				kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0	
合 計							⑪	2,480.0		⑪	123.3
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	2,697.0				0.2660		0.7
	公共下水道		☐	m ³	2,697.0				0.4000		1.1
合 計										⑪	1.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

共用部に空調はありません。テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取り組みをお願いしています。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小田急マルシェ鶴川														
事業所番号	A	5	3	0	2	-	0	0	2	7					
事業所等の所在地	〒	1	9	5	-	0	0	5	3	区市町村名 東京都町田市					
	町名番地以下	能ヶ谷町187-1													
事業所等の延床面積	5,751.02			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所					☐ 商業施設(物販)					☐ 商業施設(飲食)				
	☐ 工場					☒ 複合施設					☐ その他				
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	370	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	716	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	6	t
	総計(④=②+③)	④	722	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	124.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別				推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
									排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス			☐	Nm ³	14,606.2	45.00	657.3	0.0136	32.8		
	その他 ()			☐		0.0						
	その他 ()			☐		0.0						
	その他 ()			☐		0.0						
	その他 ()			☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	1,055,223.0	9.97	10,520.6	0.4890	516.0			
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	343,427.0	9.28	3,187.0	0.4890	167.9			
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0			
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0	0.4890	⑭
合 計								⑮	14,364.9		⑯	716.7
そ の 他	水道及び工業用水道	☐	m ³	9,691.0					0.2660	2.6		
	公共下水道	☐	m ³	9,691.0					0.4000	3.9		
合 計											⑰	6.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☒ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

共用部に空調はありません。テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取り組みをお願いしています。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	アコルデ代々木上原											
事業所番号	A	5	3	0	2	—	0	0	2	6		
事業所等の所在地	〒	1	5	1	—	0	0	6	6	区市町村名 東京都渋谷区		
	町名番地 以下	西原3-8-5										
事業所等の延床面積	5,411.06			m ²		事業所等の実績年度の エネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所			☒ 商業施設(物販)			☐ 商業施設(飲食)					
	☐ 工場			☐ 複合施設			☐ その他					
日本標準産業分類 における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当		
再生可能エネルギー の利用状況	☐ 再生可能エネルギー 発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電 気の受入 ☐ 証書による環境価値 の利用											
前年度の報告内容 からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	502	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	974	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	9	t
総計(④=②+③)	④	983	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	180.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別				推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
									排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス			■	Nm ³	34,414.5	45.00	1,548.7	0.0136	77.2	
	その他()			□		0.0					
	その他()			□		0.0					
	その他()			□		0.0					
	その他()			□		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0		
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0		
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		■	kWh	1,835,896.9	9.76	17,918.4	0.4890	897.8		
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計								⑬	19,467.0	⑭	975.0
そ の 他	水道及び工業用水道		■	m ³	13,570.0				0.2660	3.6	
	公共下水道		■	m ³	13,570.0				0.4000	5.4	
合 計										⑮	9.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C801	共用部照明のフロアごとの管理		
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

「当社59.45%、東京地下鉄40.55%で報告」

(日本産業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	千歳船橋クリエイト														
事業所番号	A	5	3	0	2	-	0	0	2	5					
事業所等の所在地	〒 1 5 6 - 0 0 5 2										区市町村名	世田谷区			
	町名番地以下 経堂4-32-12														
事業所等の延床面積	592.80					m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☒ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食)														
	☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分				☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用														
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑩×0.0258)		①	39	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	②	75	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑭)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	75	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	126.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0		
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0		
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0		
	その他 ()		☐		0.0						
	その他 ()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	153,708.0	9.97	1,532.5	0.4890	75.2		
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0		
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0		
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	⑬
合 計							⑭	1,532.5		⑮	75.2
そ の 他	水道及び工業用水道	☐	m ³	1,010.0				0.2660		0.3	
	公共下水道	☐	m ³	1,010.0				0.4000		0.4	
合 計										⑯	0.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
	B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策			C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	運用対策			
	設備保守対策			
	設備導入対策			

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☒ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

一棟貸しにつき、共用部はありません。テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取り組みをお願いしています。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	梅ヶ丘駅構内店舗															
事業所番号	A	5	3	0	2	—	0	0	2	3						
事業所等の所在地	〒	1	5	4	—	0	0	2	2	区市町村名	東京都世田谷区					
	町名番地下	梅丘1-31-21														
事業所等の延床面積	142.96					m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有															
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)															
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☒ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他															
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用															
前年度の報告内容からの変更点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	31	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	61	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	61	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	426.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ②=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
							排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス	☐	Nm ³	4,749.2	45.00	213.7	0.0136	10.7	
	その他 (LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他 (灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他 ()	☐		0.0					
	その他 ()	☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☒	kWh	103,736.0	9.76	1,012.5	0.4890	
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑪	1,226.2	⑪	61.4
そ の 他	水道及び工業用水道	☐	m ³	999.0			0.2660		0.3
	公共下水道	☐	m ³	999.0			0.4000		0.4
合 計								⑪	0.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策			C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☒ 有	☐ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

駅構内に立地しているため共用部はありませんが、テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取組みをお願いします。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	狛江駅構内店舗									
事業所番号	A	5	3	0	2	—	0	0	2	2
事業所等の所在地	〒	2	0	1	—	0	0	1	4	区市町村名 東京都狛江市
	町名番地以下	東和泉1-17-1								
事業所等の延床面積	116.31		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☒ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	55	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	106	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	107	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	911.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量※ ¹ (t) ⑩=(⑧)×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	7,061.4	45.00	317.8	0.0136	15.8
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☒	kWh	186,287.0	9.76	1,818.2	0.4890	91.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※ ²				kWh	⑪	0.0	9.76	⑪
合 計						⑫	2,135.9	⑫
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	1,701.0			0.2660	0.5
	公共下水道	☐	m ³	1,701.0			0.4000	0.7
合 計								⑬

※¹ 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※² ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策			C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

駅構内に立地しているため共用部はありませんが、テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取組みをお願いします。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	喜多見駅構内店舗											
事業所番号	A	5	3	0	2	—	0	0	2	1		
事業所等の所在地	〒157-0006 区 市 町 村 名 東京都世田谷区											
	町 名 番 地 喜多見9-2-26											
事業所等の延床面積	120.86		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☒ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分				☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	40	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	79	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	79	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	653.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	162,717.0	9.76	1,588.1	0.4890	79.6
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	^⑪ 0.0	^⑪ 9.76	^⑪ 0.0	^⑪ 0.4890	^⑪ 0.0
合 計						^⑪ 1,588.1		^⑪ 79.6	
そ の 他	水道及び工業用水道	☒	m ³	55.0				0.2660	0.0
	公共下水道	☒	m ³	55.0				0.4000	0.0
合 計								^⑪ 0.0	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策			C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

駅構内に立地しているため共用部はありませんが、テナント指導の一環として、省エネルギー施策への取組みをお願いします。